

文化財をたずねて

No.15

赤穂の狛犬めぐり

発行 赤穂市教育委員会

編集 生涯学習課文化財係

(赤穂市加里屋 81 TEL 43-6962)

今日では、神社境内にある2頭で1対となる獣像を両方とも「狛犬」と呼んでいるが、平安時代の宮中の様子を記した『枕草子』や『栄華物語』では「獅子」「狛犬」と、はっきり区別されていたことがうかがえる。「獅子」は、世界各国で知られる百獣の王ライオン（獅子）を守護獣とした風習に始まり、中国の皇帝を守護する獅子像が日本に伝来したものである。また「狛犬」は、朝鮮半島から高麗犬の舞踊として日本に伝わったもので、その姿は空想上の一角獣がモデルとなったと考えられている。平安時代に獅子舞と狛犬の舞踊は番舞とされ、獅子と狛犬を2頭1対とした日本独自の形式が生まれたようである。狛犬は、仁王像のように「阿吽」の形態がとられ、一般的に向かって右側が口を開いた阿形の獅子で、左側が口を閉じた吽形の狛犬であり、狛犬には1本の角が頭上にある。石造の狛犬が神社の守護獣として参道に置かれるようになったのは、江戸時代になってからのことであり、呼び方も獅子・狛犬に区別なく単に「狛犬」と呼ばれるようになっていった。※以下文章中、高さは像高。()内は台座を含めた高さ。

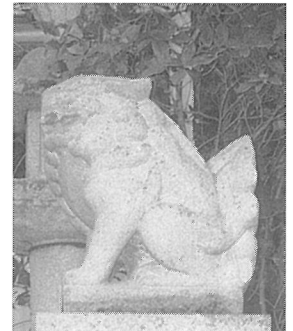


①須賀神社 (有年権原中所) 狛犬 (吽形)

①須賀神社 (有年権原中所) 狛犬

拝殿前にあり、高さ54 cm (180 cm) を測る。狛犬、台石ともに花崗岩製で、昭和8 (1933) 年12月23日造立。「石工 下賀政治」の銘がある。今上天皇の誕生を記念し、上組青年団によって奉納されたものである。足が短く、ずんぐりとした体型で、全体的に見ると尾が大きく、かわいらしいリスのようである。

よく似たものに、⑦荒神社 (塩屋) 合社前狛犬がある。姿形が似ているばかりか、高さや造立年も近似しており、同じ石工の作品と考えられる。



⑦荒神社 (塩屋) 合社前狛犬 (阿形)



②須賀神社 (有年権原新田) 狛犬 (吽形)

②須賀神社 (有年権原新田) 狛犬

拝殿前にあり、高さ54 cm (142 cm) を測る。狛犬は砂岩製で、台石は凝灰岩製。明治34年 (1901) 10月17日造立。「有年村 石工 安藤庄太郎」の銘がある。怖いおじさんのような表情が個性的であり、珍しく阿形のものに角があって、吽形には角がない。阿形の口の中にはコロコロと動く玉があり、これに気づいた人は、必ず取り出してみようと試みるが、口から取り出すことができなくてイライラする。吽形は口を閉じているが、巻物をくわえた忍者のような狛犬である。

また、玉をくわえた狛犬には、⑧春日神社 (南野中)、④須賀神社 (有年原)、⑤塩竈神社 (尾崎) 狛犬がある。



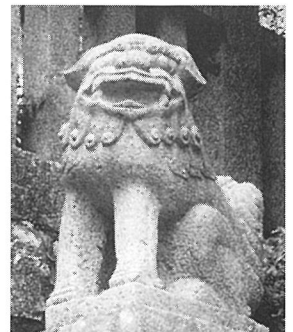
②須賀神社 (有年権原新田) 狛犬 (阿形)



③八幡神社 (有年牟礼) 社殿前狛犬 (吽形)

③八幡神社 (有年牟礼) 社殿前狛犬

社殿前石段の途中にあり、高さ59 cm (134 cm) を測る。狛犬、台石ともに花崗岩製で、台石には「与井村 石工 小河利助」の銘がある。阿形・吽形ともに角はない。明治19年 (1886) 9月に造立されたもので、有年地区では最も古い狛犬である。

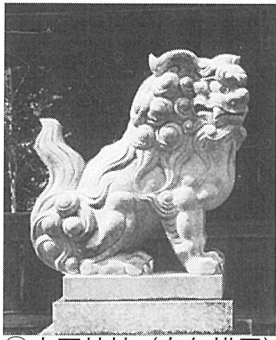


③八幡神社 (有年牟礼) 社殿前狛犬 (阿形)





- | | | |
|------------------|-------------------|------------------|
| ①須賀神社（有年橋原中所）狛犬 | ②須賀神社（有年橋原新田）狛犬 | ③八幡神社（有年牟礼）社殿前狛犬 |
| ④山王神社（有年横尾）狛犬 | ⑤大避神社（中山）狛犬 | ⑥大避神社（木津）狛犬 |
| ⑦大避神社（坂越）稻荷社前狛犬 | ⑧春日神社（南野中）狛犬 | ⑨伊和都比賣神社本殿前狛犬 |
| ⑩赤穂八幡宮（尾崎）狛犬 | ⑪赤穂大石神社狛犬 | ⑫荒神社（木生谷）狛犬 |
| ⑬荒神社（鷓和真木）狛犬 | | |
| ㊦大避神社（西有年）絵馬堂前狛犬 | ㊧大避神社（西有年）社殿前狛犬 | ㊨八幡神社（東有年）狛犬 |
| ㊩須賀神社（有年原）狛犬 | ㊪八幡神社（有年牟礼）絵馬堂前狛犬 | ㊫八幡神社（周世）狛犬 |
| ㊬荒神社（高雄）拝殿前狛犬 | ㊭尼子神社狛犬 | ㊮大避神社（坂越）神門前狛犬 |
| ㊯大避神社（坂越）拝殿前狛犬 | ㊰荒神社（砂子）狛犬 | ㊱塩竈神社（尾崎）狛犬 |
| ㊲花岳寺浅野公廟所狛犬 | ㊳荒神社（塩屋）合社前狛犬 | ㊴荒神社（塩屋）狛犬 |
| ㊵日吉神社狛犬 | ㊶八幡神社（大津）狛犬 | ㊷八幡神社（折方）狛犬 |
| ㊸荒神社（鷓和鳥撫）狛犬 | ㊹八幡宮（福浦）狛犬 | ㊺天則荒神社（福浦）狛犬 |



④山王神社 (有年横尾) 狛犬 (吽形)



⑤大避神社 (中山) 狛犬 (吽形)



⑥大避神社 (木津) 狛犬 (吽形)



⑦大避神社 (坂越) 稻荷社前狛犬 (吽形)



⑧春日神社 (南野中) 狛犬 (吽形)

④山王神社 (有年横尾) 狛犬

拝殿前にあり、高さ71cm (201cm) を測る。狛犬・台石とも花崗岩製。昭和61年 (1986) 4月造立で、造立年代は新しい。頭部が大きく、たてがみがはっきり浮き彫られ、筋肉質で迫力のあるのが特徴である。

よく似たものに⑤荒神社 (高雄) 拝殿前狛犬、⑥尼子神社狛犬、⑦荒神社 (砂子) 狛犬、⑧天則荒神社 (福浦) 狛犬がある。荒神社 (砂子) 狛犬は、平成7年 (1995) 造立で、市内唯一天を仰ぐ姿である。

⑤大避神社 (中山) 狛犬

拝殿前にあり、高さ72cm (156cm) を測る。狛犬は砂岩製で、台石は花崗岩製である。明治32年 (1877) 4月造立。「大阪西口堀呉服橋 石匠 岡田屋」の銘がある。

よく似たものに⑨八幡神社 (大津) 狛犬があるが、狛犬・台石とも花崗岩製で、こちらは地元の石工の作品と思われる。高さ77cm (231cm) を測り、明治41年 (1908) 5月造立。

⑥大避神社 (木津) 狛犬

拝殿石段前にあり、高さ60cm (150cm) を測る。狛犬、台石ともに花崗岩製。慶応3 (1867) 年9月造立で、高雄地区では唯一の江戸時代の狛犬である。「石工 町 平太郎」の銘がある。

平太郎が造った狛犬は、市内では⑩八幡神社 (周世)、⑪大避神社 (坂越) 神門前にもある。いずれも花崗岩製。これらの銘文から、平太郎は幕末から明治の初め頃に活躍した石工で、城下に店舗を構えていたことがわかる。平太郎の狛犬は特徴的で、頭がやや小さく、頭部から尻にかけてのラインが直線的である。また、尾は比較的小さく、螺旋の集合体のような形状である。頭部は関東地方の狛犬に似ており、関東、関西の折衷のような形態と言える。

⑦大避神社 (坂越) 稻荷社前狛犬

稻荷社前にあり、高さ58cm (150cm) を測る。狛犬、台石ともに花崗岩製。慶応2年 (1866) 5月造立。後ろ足も立ち、前足を大きな球に掛けた「尾道型」と呼ばれるもので、市内では唯一これだけである。

本神社の拝殿前には天保7年 (1836) 9月造立の⑫狛犬もある。高さ56cm (142cm) を測る。狛犬は砂岩製。廻船の海上安全を祈願して奉納された。

⑧春日神社 (南野中) 狛犬

拝殿前にあり、高さ57cm (117cm) を測る。狛犬、台石ともに花崗岩製。明治43年 (1910) 造立。「石工 揖保郡東ハシサキ 巖種二」の銘がある。玉をくわえている点が大きな特徴であり、頭が平らで、耳が長く垂れ下がり、吽形の狛犬が歯を剥き出しにしている。⑬塩竈神社 (尾崎) 狛犬が同じ特徴を備えている。高さ81cm (260cm) を測る。大正6年 (1917) 12月造立。「巖」の銘があることから同一作者の作品と考えられる。

また頭が平らなものには、⑭八幡神社 (東有年) 狛犬がある。彫り物の美しい座盤が特徴で、明治20年 (1887) 造立。



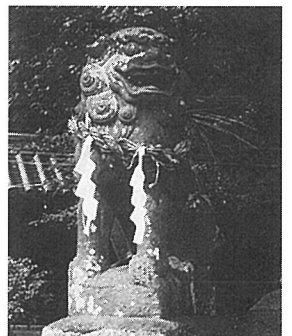
⑨天則荒神社 (福浦) 狛犬 (阿形)



⑩八幡神社 (大津) 狛犬 (阿形)



⑪八幡神社 (周世) 狛犬 (阿形)



⑫大避神社 (坂越) 拝殿前狛犬 (阿形)



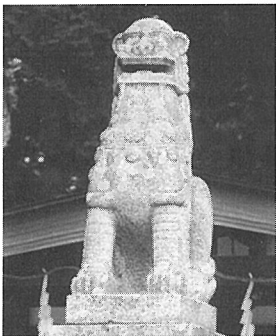
⑬塩竈神社 (尾崎) 狛犬 (阿形)



⑨伊和都比賣神社
本殿前狛犬（咩形）



⑩赤穂八幡宮（尾崎）
狛犬（咩形）



⑪赤穂大石神社
狛犬（左側）



⑫荒神社（木生谷）
狛犬（咩形）



⑬荒神社（鶺鴒和真木）
狛犬（咩形）

⑨伊和都比賣神社本殿前狛犬

本殿前にあり、近寄って見ることはできない。高さ92 cm (158 cm) を測る。砂岩製。文化13年(1816)4月造立。銘があるものでは市内で最も古い。文化14年(1817)造立の姫路市魚吹八幡神社狛犬とよく似ている。

⑩赤穂八幡宮（尾崎）狛犬

市内殆どの狛犬が社殿の前にあるが、これは社殿から離れた鳥居付近に置かれ、境内に入ることも許さない構えである。高さ107 cm (221 cm) を測る。狛犬は砂岩製で、台石は花崗岩製。天保3年(1832)12月造立。市内で2番目に古い。「石工 大坂松屋町筋九之助橋 大坂屋與三兵衛」の銘がある。剥落が著しく、かなり傷んではいるが、たてがみや尾は写実的で秀逸の作品と言える。また、阿形の狛犬の股間には陽物が浮き彫りされている。前足には紙扱りの紐が結びつけられており、家出人の足留めか、足の病気の平癒の祈願ではないかと考えられる。

紐が結びつけられた狛犬は、この他にも①大避神社（西有年）社殿前、②須賀神社（有年原）でも見ることができる。

⑪赤穂大石神社狛犬

拝殿前にあり、高さ98 cm (260 cm) を測る。花崗岩製。明治45年(1912)5月造立。左右両方ともが口を開け、正面を向いた珍しい狛犬である。この狛犬は、奈良市東大寺南大門裏にある建久7年(1196)造立の日本最古の狛犬を模倣したものである。

どちらもが口を開けているものに、②花岳寺浅野公廟所狛犬がある。高さ68 cm (164 cm) を測る。大正14年(1925)5月造立。「支那製 大理石」の銘がある。蓬仙和尚によって奉納されたものである。

⑫荒神社（木生谷）狛犬

拝殿前にあり、高さ71 cm (140 cm) を測る。狛犬は砂岩製で、台石は花崗岩製。嘉永5年(1852)8月造立。狛犬としてのイメージが最もしっくりするタイプであり、⑭八幡神社（折方）狛犬もこれによく似ている。

この他、江戸時代の狛犬に⑮荒神社（塩屋）狛犬、⑯日吉神社狛犬がある。荒神社（塩屋）狛犬は境内の入り口部分にあり、高さ84 cm (204 cm) を測る。文久元年(1861)9年造立。日吉神社狛犬は拝殿前にあり、高さ72 cm (160 cm) を測る。嘉永5年(1852)9月造立。

⑬荒神社（鶺鴒和真木）狛犬

拝殿前にあり、高さ70 cm (180 cm) を測る。大正8年(1919)10月造立。備前焼製のものでは、唯一造立年がわかるものである。

備前焼製の狛犬は、ほかに⑰大避神社（西有年）絵馬堂前、⑱荒神社（鶺鴒和鳥撫）、⑲八幡宮（福浦）にもある。市内では備前市に近い西側にのみ見られ、土地柄がうかがえる。（調査協力 歴代赤穂市文化財保護連絡員各位）

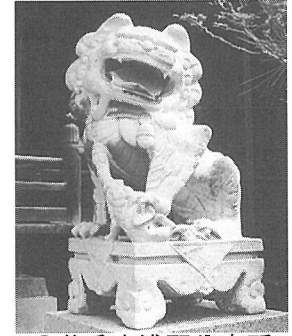
『赤穂の鳥居と狛犬』赤穂市教育委員会刊 販売中 1冊1000円



⑨伊和都比賣神社
本殿前狛犬（阿形）



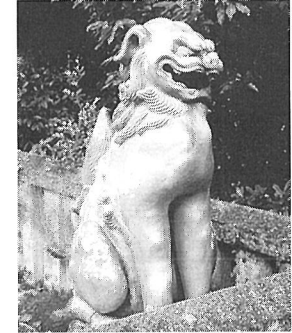
⑩赤穂八幡宮（尾崎）
狛犬（阿形）



②花岳寺浅野公廟所
狛犬（右側）



⑤日吉神社
狛犬（阿形）



⑲八幡宮（福浦）
狛犬（阿形）